

データシート

品名： 角板形低抵抗チップ抵抗器

形名： RLC10,16,20,32,35,50,63

RoHS 対応品

ハロゲン&アンチモン フリー

ご注意： ・推奨保管条件

温度：+5℃～+35℃

湿度：25%～75%R.H.

保管期間：出荷後2年 はんだ付け性を満足すること。

・製品改良のため記載事項の一部を予告なく変更する場合があります。

・品質契約の合意又は契約が必要な場合は納入仕様書をご要求ください。

納入仕様書のご用命及び本参考仕様書に関するお問い合わせについては
弊社営業部へお問い合わせください。



釜屋電機株式会社
KAMAYA ELECTRIC CO., LTD.

発行元：研究事業部 北海道研究所

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 1/17

1.適用

1.1 適用範囲

本仕様書は電子応用機器一般に使用される角板形低抵抗チップ抵抗器 RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63(以下、抵抗器という) について規定する。

1.2 関連規格

JIS C 5201-1:2011, JIS C 5201-8:2014, JIS C 5201-8-1:2014

IEC60115-1:2008, IEC60115-8:2009, IEC60115-8-1:2014

EIAJ RC-2144-2010

2. 形名

形名は、下記の様式に従い規定されたごとく行う。

(例)	RLC	20	K	R470	J	TP
	1	2	3	4	5	6

形状

1. 角板形低抵抗チップ抵抗器

2. 定格電力及びサイズ

3. 抵抗温度係数

K	$\pm 100 \times 10^{-6} / ^\circ \text{C}$
-	標準
L	3.2 項による。

 形状

4. 定格抵抗値 定格抵抗値とその記号は、3.3 項による。

5. 定格抵抗値の許容差

F	$\pm 1\%$
G	$\pm 2\%$
J	$\pm 5\%$

6. 包装形態

TH	紙・テーピング
TP	
TE	エンボス・テーピング

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 2/17

3. 定格

定格は、表-1 のとおりとする。

3.1 抵抗温度係数:K&-(ダッシュ)品

表-1(1)

形状	定格電力 (W)	定格電流範囲 (A)	抵抗温度係数 (10 ⁻⁶ /°C)		定格抵抗値範囲 (Ω)	定格抵抗値 の許容差
RLC10	0.125	0.11~1.11	K	±100	3.6~10	F(±1%), J(±5%)
			-(ダッシュ)	0~+200	0.47~3.3	F(±1%), G(±2%), J(±5%)
				0~+300	0.1~0.43	F(±1%), J(±5%)
RLC16	0.25	0.14~1.58	K	±100	3.6~10	F(±1%), J(±5%)
			-(ダッシュ)	0~+200	0.47~3.3	F(±1%)
				0~+250	0.2~0.43	G(±2%)
RLC20	0.33	0.15~2.56	K	±100	0.1~0.18	J(±5%)
			-(ダッシュ)	0~+200	0.2~0.43	F(±1%)
				0~+250	0.05~0.18	G(±2%)
RLC32	0.5	0.18~3.16	K	±100	0.05~0.18	J(±5%)
			-(ダッシュ)	0~+200	0.2~0.43	F(±1%)
				0~+250	0.05~0.18	G(±2%)
RLC35	0.66	0.44~3.63	K	±100	0.47~3.3	F(±1%)
			-(ダッシュ)	0~+200	0.2~0.43	G(±2%)
				0~+250	0.05~0.18	J(±5%)
RLC50	0.75	0.47~3.87	K	±100	0.47~3.3	F(±1%)
			-(ダッシュ)	0~+200	0.2~0.43	G(±2%)
				0~+250	0.05~0.18	J(±5%)
RLC63	1.0	0.55~4.47	K	±100	0.47~3.3	F(±1%)
			-(ダッシュ)	0~+200	0.2~0.43	G(±2%)
				0~+250	0.05~0.18	J(±5%)

形状	素子最高電圧 (V)	絶縁電圧 (V)	カテゴリ温度範囲 (°C)
RLC10	1.11	100	-55～+155
RLC16	1.41		
RLC20	1.58		
RLC32	1.81	500	
RLC35	1.47		
RLC50	1.56		
RLC63	1.82		

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 3/17

3.2 抵抗温度係数:L 品

表-1(2)

形状	定格電力 (W)	定格電流範囲 (A)	抵抗温度係数 ($10^{-6}/^{\circ}\text{C}$)		定格抵抗値範囲 (Ω)	定格抵抗値 の許容差
RLC10	0.063	0.26~1.12	L	± 300	0.51~0.91	F($\pm 1\%$), J($\pm 5\%$)
				± 800	0.10~0.50	
				± 1500	0.05~0.091	
RLC16	0.1	0.33~3.16	L	± 300	0.51~0.91	F($\pm 1\%$), J($\pm 5\%$)
				± 800	0.10~0.50	
				± 1200	0.05~0.091	
RLC20	0.25	0.52~5.0	L	± 200	0.51~0.91	F($\pm 1\%$), J($\pm 5\%$)
				± 300	0.39~0.50	
				± 600	0.10~0.36	
				± 1000	0.05~0.091	
RLC32	0.5	0.74~7.07	L	± 200	0.51~0.91	F($\pm 1\%$), J($\pm 5\%$)
				± 300	0.39~0.50	
				± 600	0.10~0.36	
				± 1000	0.05~0.091	
RLC35	0.66	0.85~8.12	L	± 200	0.51~0.91	F($\pm 1\%$), J($\pm 5\%$)
				± 300	0.39~0.50	
				± 600	0.10~0.36	
				± 1000	0.05~0.091	
RLC50	0.75	0.90~8.66	L	± 200	0.51~0.91	F($\pm 1\%$), J($\pm 5\%$)
				± 300	0.39~0.50	
				± 600	0.10~0.36	
				± 1000	0.05~0.091	
RLC63	1.0	1.04~10	L	± 200	0.51~0.91	F($\pm 1\%$), J($\pm 5\%$)
				± 300	0.39~0.50	
				± 600	0.10~0.36	
				± 1000	0.05~0.091	

形状	素子最高電圧 (V)	絶縁電圧 (V)	カテゴリ温度範囲 (°C)
RLC10	0.23	100	-55～+155
RLC16	0.30		
RLC20	0.47	500	
RLC32	0.67		
RLC35	0.77		
RLC50	0.82		
RLC63	0.95		

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 4/17

3.3 定格抵抗値

定格抵抗値は、表-2 のとおりとする。

表-2

定格抵抗値		定格抵抗値		定格抵抗値	
定格抵抗値[mΩ]	記号	定格抵抗値[mΩ]	記号	定格抵抗値[Ω]	記号
50	R050	250	R250	1.0	1R00
51	R051	270	R270	1.1	1R10
56	R056	300	R300	1.2	1R20
60	R060	330	R330	1.3	1R30
62	R062	360	R360	1.5	1R50
65	R065	390	R390	1.6	1R60
68	R068	400	R400	1.8	1R80
70	R070	430	R430	2.0	2R00
75	R075	470	R470	2.2	2R20
80	R080	500	R500	2.4	2R40
82	R082	510	R510	2.7	2R70
90	R090	560	R560	3.0	3R00
91	R091	600	R600	3.3	3R30
100	R100	620	R620	3.6	3R60
110	R110	650	R650	3.9	3R90
120	R120	680	R680	4.3	4R30
130	R130	700	R700	4.7	4R70
150	R150	750	R750	5.1	5R10
160	R160	800	R800	5.6	5R60
180	R180	820	R820	6.2	6R20
200	R200	900	R900	6.8	6R80
220	R220	910	R910	7.5	7R50
240	R240			8.2	8R20
				9.1	9R10
				10	100

3.4 耐候性カテゴリ

55/155/56 カテゴリ下限温度 -55 °C
カテゴリ上限温度 +155°C
高温高湿(定常)の試験期間 56 日

3.5 安定性クラス

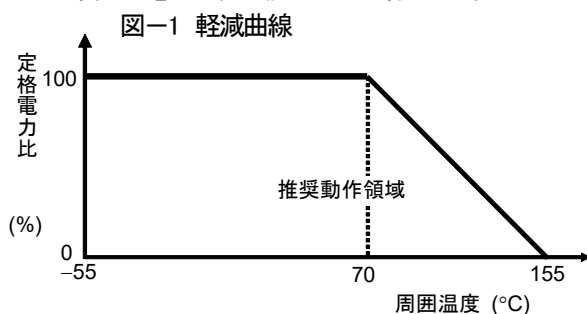
5% 抵抗値変化の限界:
— 長期試験 ±5%
— 短期試験 ±1%

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 5/17

3.6 負荷軽減

70℃を超える温度での電力の軽減値は次の曲線による。



3.7 定格電圧

定格抵抗値と定格電力との積の平方根から求められた d. c. 又は a. c. 電圧の実効値とする。

$$E = \sqrt{P \cdot R}$$

E : 定格電圧 (V)
P : 定格電力 (W)
R : 定格抵抗値 (Ω)

素子最高電圧は抵抗値が臨界抵抗値以上の抵抗器だけに適用し臨界抵抗値より高い抵抗値に対しては定格電圧は適用されない。

3.8 定格電流

定格電流は、定格電力と定格抵抗値の商の平方根から求められた値とする。

$$I = \sqrt{P / R}$$

I : 定格電流 (A)
P : 定格電力 (W)
R : 定格抵抗値 (Ω)

定格電流は定格電圧に相当する電流値とする。

4. 包装形態

包装形態は、表-3 のとおりとする。

表-3

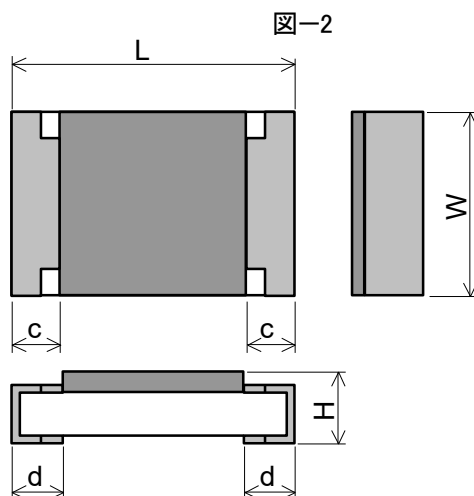
記号	包装形態		標準包装数量	適用形状
TH	紙・テーピング	8mm 幅, 2mm ピッチ	10,000 個	RLC10
TP	テーピング(紙テープ)	8mm 幅, 4mm ピッチ	5,000 個	RLC16, 20, 32
TE	エンボス・テーピング	8mm 幅, 4mm ピッチ	4,000 個	RLC35
		12mm 幅, 4mm ピッチ		RLC50, 63

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 6/17

5. 外形及び寸法

5.1 外形及び寸法は、図-2 及び表-4 のとおりとする。



5.1.1 抵抗温度係数:K&- (ダッシュ)品

表-4(1)

単位:mm

形状	L	W	H	c	d
RLC10	1.0±0.05	0.5±0.05	0.35±0.05	0.2±0.1	0.25 ^{+0.05} _{-0.10}
RLC16	1.6±0.1	0.8 ^{+0.15} _{-0.05}	0.45±0.1	0.3±0.1	0.3±0.1
RLC20	2.0±0.1	1.25±0.10	0.6±0.1	0.4±0.2	0.4±0.2
RLC32	3.1±0.2	1.6±0.15	0.6±0.1	0.5±0.25	0.3 ^{+0.2} _{-0.1}
RLC35	3.1±0.2	2.5±0.15	0.6±0.15	0.5±0.25	0.3 ^{+0.2} _{-0.1}
RLC50	5.0±0.2	2.5±0.15	0.6±0.15	0.6±0.2	0.6±0.2
RLC63	6.3±0.2	3.2±0.15	0.6±0.15	0.6±0.2	0.6±0.2

5.1.2 抵抗温度係数:L 品

表-4(2)

単位:mm

Style	L	W	H	c	d
RLC10	1.0±0.05	0.5±0.05	0.35±0.05	0.2±0.1	0.25 ^{+0.05} _{-0.10}
RLC16	1.6±0.1	0.8±0.1	0.45±0.15	0.3±0.1	0.3±0.2
RLC20	2.0±0.1	1.25±0.10	0.5±0.15	0.4±0.2	0.4±0.2
RLC32	3.1±0.1	1.6±0.1	0.6±0.15	0.5±0.2	0.45±0.20
RLC35	3.1±0.1	2.6±0.1	0.55±0.10	0.5±0.2	0.5±0.2
RLC50	5.0±0.2	2.5±0.2	0.55±0.10	0.65±0.25	0.6±0.25
RLC63	6.4±0.2	3.2±0.2	0.6±0.1	0.65±0.25	0.9±0.25

5.2 製品重量 (参考値)

形状	製品重量 (mg)
RLC10	0.6
RLC16	2
RLC20	5
RLC32	9
RLC35	16
RLC50	25
RLC63	40

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 7/17

6. 捺印表示

RLC10,16 の表示は適用外とする。

6.1 RLC20,32,35,50,63

抵抗器単体への捺印表示は、保護コート表面に定格抵抗値を 4 文字で施すこととする。

それらは、3 数字と 1 英大文字の組み合わせで施すこととする。

(例) “R050” → 0.05 [Ω] ($R < 1\Omega$)

“100” → 10 [Ω] ($R \geq 1\Omega$)

6.2 RLC16(L 品のみ)

抵抗器単体への捺印表示は、保護コート表面に定格抵抗値を E24 数列又は E96 数列の数値に従った 3 文字表示で次の様に施すこととする。

●100mΩ~910mΩ, E24 数列

(Example) “R22” → 220 [mΩ] → 0.22 [Ω]

●100mΩ~976mΩ, E96 数列: E96 数列の抵抗値記号と乗数の記号: Z (10^{-3})で表す。

(Example) “25Z” → 178 [mΩ] → 0.178[Ω]

“34Z” → 221 [mΩ] → 0.221[Ω]

●1mΩ~99mΩ: 乗数の記号: M で表す。“M” = “m”, 1/1000 を意味する。

(Example) “75M” → 75 [mΩ] → 0.075[Ω]

6.2.1 E96 数列の抵抗値記号

E96	Symbol	E96	Symbol	E96	Symbol	E96	Symbol	E96	Symbol
100	01	162	21	261	41	422	61	681	81
102	02	165	22	267	42	432	62	698	82
105	03	169	23	274	43	442	63	715	83
107	04	174	24	280	44	453	64	732	84
110	05	178	25	287	45	464	65	750	85
113	06	182	26	294	46	475	66	768	86
115	07	187	27	301	47	487	67	787	87
118	08	191	28	309	48	499	68	806	88
121	09	196	29	316	49	511	69	825	89
124	10	200	30	324	50	523	70	845	90
127	11	205	31	332	51	536	71	866	91
130	12	210	32	340	52	549	72	887	92
133	13	215	33	348	53	562	73	909	93
137	14	221	34	357	54	576	74	931	94
140	15	226	35	365	55	590	75	953	95
143	16	232	36	374	56	604	76	976	96
147	17	237	37	388	57	619	77		
150	18	243	38	392	58	634	78		
154	19	249	39	402	59	649	79		
158	20	255	40	412	60	665	80		

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 8/17

7. 性能

7.1 試験の標準状態は、JIS C 5201-1:2011 の 4.2 項による。

7.2 表-5 の性能を満足すること。

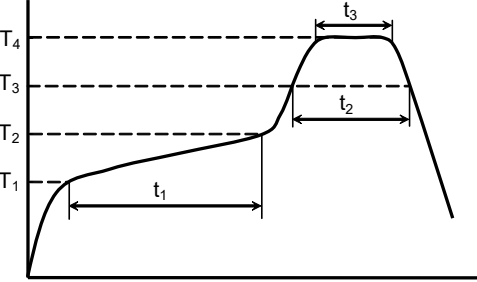
表-5(1)

No.	試験項目	試験条件(JIS C 5201-1)	要求性能
1	外観	4.4.1 目視によって検査する。	4.4.1による。 表示は、目視によって判読できなければならない
2	寸法 抵抗値	4.4.2 4.5 測定電流 10mA ※株式会社アドバンテスト TR6878 デジタル・マルチメータ相当の測定器	表-4 規定の寸法を満足しなければならない 4.5.2による。 定格抵抗値の許容差内でなければならない
3	耐電圧	4.7 方法:4.6.1.4 (図-5 参照) 試験電圧:交流電圧で、ピーク値がアイソレーション 電圧の 1.42 倍に相当する電圧 試験時間:60 s±5 s 絶縁抵抗 試験電圧:絶縁電圧 試験時間:1 分間	絶縁破壊又はフラッシュオーバーがない R≥1 G(Ω)
4	はんだ付け性	4.17 エージングなし 使用フラックス:非活性フラックス約 2 秒間浸せき はんだ槽の温度:235°C±5°C 浸せき時間:2s±0.5s	4.17.4.5による。 表面が滑らかで光沢のあるはんだで覆われていること
5	取付け 過負荷 (取り付けた状態) 表示の耐溶剤性	4.31 基板材質:ガラス布基材エポキシ樹脂積層板 試験用基板:図-3 4.13 定格電圧の 2.5 倍又はそれに相当する電流 印加時間:2s 外観 抵抗値 4.30 溶剤:2-プロパノール 溶剤温度:23°C±5°C 方法 1 ラビング材質:脱脂綿 後処理:なし	外観の損傷がない。 ΔR≤±1% 表示が判読できる。

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 9/17

表-5(2)

No.	試験項目	試験条件(JIS C 5201-1)	要求性能
6	取付け 耐プリント板曲げ性 最終測定	4. 31 基板材質: ガラス布基材エポキシ樹脂積層板 試験用基板: 図-4 4. 33 たわみ量: 3 mm (3225 以下) 1 mm (5025 以上) 抵抗値 4. 33. 6 外観	$\Delta R \leq \pm 1\%$ 外観の損傷がない。
7	はんだ耐熱性 部品の耐溶剤性	4. 18(JEITA RC-2144 2.3.2) T1: 予備加熱最低温度: $150 \pm 5^\circ\text{C}$ T2: 予備加熱最高温度: $180 \pm 5^\circ\text{C}$ T3: はんだ付け温度: 220°C T4: ピーク温度: 250°C t1: 予備加熱時間: $120 \pm 5\text{s}$ t2: はんだ付け時間: 60~90s t3: ピーク温度持続時間($T4-5^\circ\text{C}$): 20~40s 予備はんだ付け: 1 回(その後、初期値測定) リフロー回数: 3 回  外観 抵抗値 4. 29 溶剤: 2-プロパノール 溶剤温度: $23^\circ\text{C} \pm 5^\circ\text{C}$ 方法 2 後処理: 48 h 外観 抵抗値	 外観の損傷がない。 $\Delta R \leq \pm 1\%$ 外観の損傷がない。 $\Delta R \leq \pm 1\%$

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 10/17

表-5(3)

No.	試験項目	試験条件(JIS C 5201-1)	要求性能
8	取付け 固着性 温度急変	4. 31 基板材質:ガラス布基材エポキシ樹脂積層板 試験用基板:図-3 4. 32 加圧力:5 N 維持時間:10s±1s 外観 4. 19 カテゴリ下限温度: -55℃ カテゴリ上限温度: +155℃ 各温度のさらし時間:30 min. サイクル数:5 サイクル 外観 抵抗値	外観の損傷がない。 外観の損傷がない。 $\Delta R \leq \pm 1\%$
9	一連耐候性 ・高温(耐熱性) ・温湿度サイクル (12+12 時間サイクル) 最初のサイクル ・低温(耐寒性) ・温湿度サイクル (12+12 時間サイクル) 残りのサイクル ・直流負荷	4. 23 4. 23. 2 試験温度: +155℃ 試験時間: 16 h 4. 23. 3 試験方法: 方法 2 試験温度: 55℃[厳しさ(2)] 4. 23. 4 試験温度: -55℃ 試験時間: 2 h 4. 23. 6 試験方法: 方法 2 試験温度: 55℃[厳しさ(2)] 残りのサイクル: 5 サイクル 4. 23. 7 印加電流: 定格電流 印加時間: 1 min 外観 抵抗値	 外観の損傷がない。 $\Delta R \leq \pm 5\%$
10	取付け 70℃での耐久性	4. 31 基板材質:ガラス布基材エポキシ樹脂積層板 試験用基板:図-3 4. 25. 1 周囲温度: 70℃±2℃ 試験時間: 1000 h 試験条件: 1.5 時間印加、0.5 時間休止のサイクルで 電流を印加する。 印加電流: 定格電流 48 h, 500 h 及び 1000 h での検査: 外観 抵抗値	 外観の損傷がない。 $\Delta R \leq \pm 5\%$

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 11/17

表-5(4)

No.	試験項目	試験条件(JIS C 5201-1)	要求性能
11	取付け 温度による抵抗値変化	4. 31 基板材質:ガラス布基材エポキシ樹脂積層板 試験用基板:図-3 4. 8 +20°C/+155°C	表-1 による。
12	取付け 高温高湿(定常)	4. 31 基板材質:ガラス布基材エポキシ樹脂積層板 試験用基板:図-3 4. 24 周囲温度:40°C±2°C 相対湿度:93 ⁺² ₋₃ % 電流印加はしない。 外観 抵抗値	外観の損傷がなく、表示が判読できる。 ΔR≤±5%
13	寸法(詳細) 取付け カテゴリ上限温度での耐久性	4. 4. 3 4. 31 基板材質:ガラス布基材エポキシ樹脂積層板 試験用基板:図-3 4. 25. 3 周囲温度:155°C±2°C 試験時間:1000 h 48 h, 500h 及び 1000 h での検査: 外観 抵抗値	表-4 による。 外観の損傷がない。 ΔR≤±5%

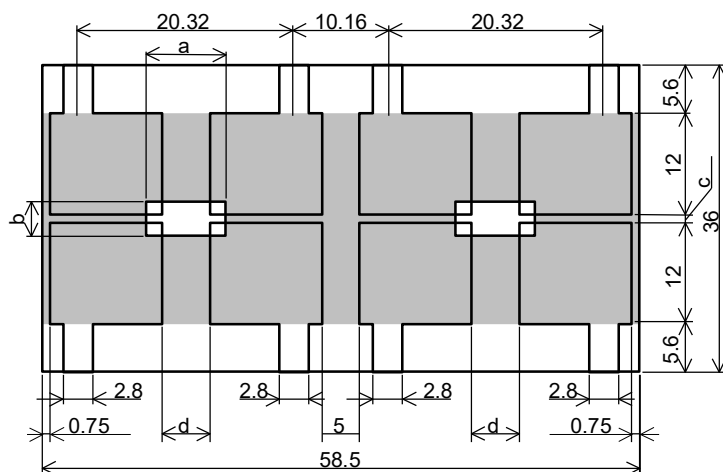
名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 12/17

8. 抵抗器の取付け

図-3
RLC 用 試験基板略図

*1 抵抗温度係数:K&- (ダブシユ)品

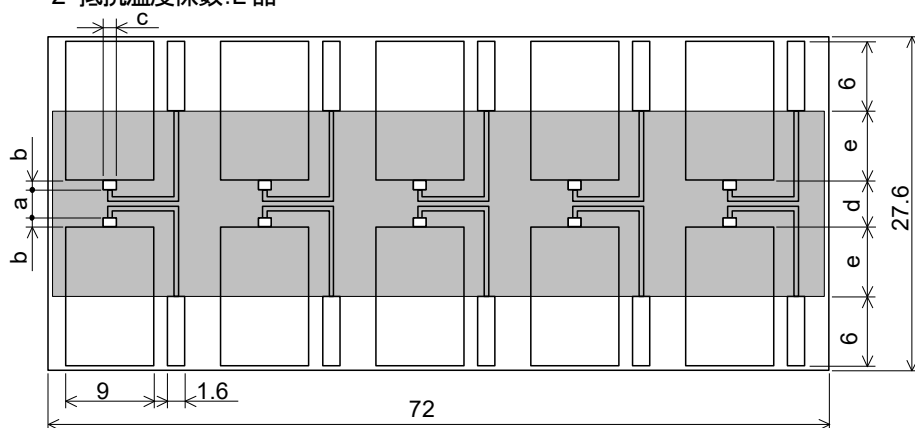


単位:mm

銅箔パターン
:ソルダーレジスト

形状	A	b	c	d
RLC10	1.9	0.7	0.16	0.6
RLC16	3.0	1.2	0.16	1.0
RLC20	4.0	1.65	0.4	1.2
RLC32	5.0	2.0	0.5	2.2
RLC35	5.0	2.9	0.5	2.2
RLC50	7.5	3.0	0.8	4.0
RLC63	9.0	4.0	0.8	5.0

*2 抵抗温度係数:L 品



単位:mm

銅箔パターン
:ソルダーレジスト

形状	a	b	c	d	e
RLC10	0.6	0.5	0.7	1.6	6.5
RLC16	1.0	0.6	0.8	2.2	6.2
RLC20	1.3	0.7	1.25	2.7	5.95
RLC32	2.1	0.9	1.7	3.9	5.35
RLC35	2.2	1.4	2.9	5.0	4.8
RLC50	3.76	1.12	2.8	6.0	4.3
RLC63	4.0	1.8	3.5	7.6	3.5

備考 1. 材質は、ガラス布基材エポキシ樹脂。

厚さ:1.6 mm 銅箔厚さ:0.035 mm

備考 2. コネクタ接続の場合は、接続用端子に金めっきなどを施す。

ただし、はんだ付け接続の場合は不要とする。

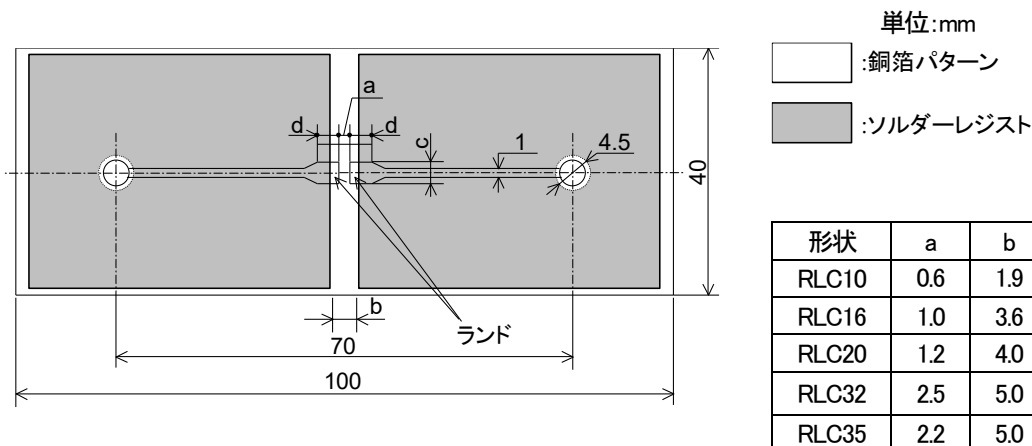
名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 13/17

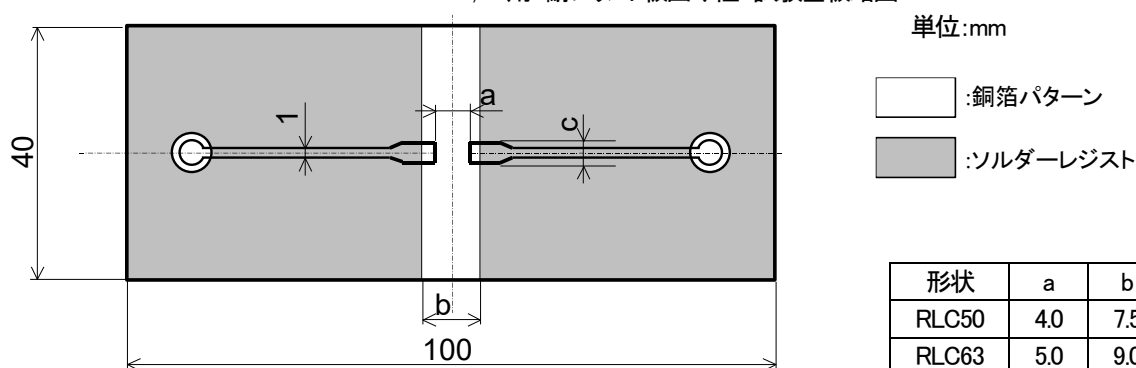
図-4

*1 抵抗温度係数:K&-(ダッシュ)品

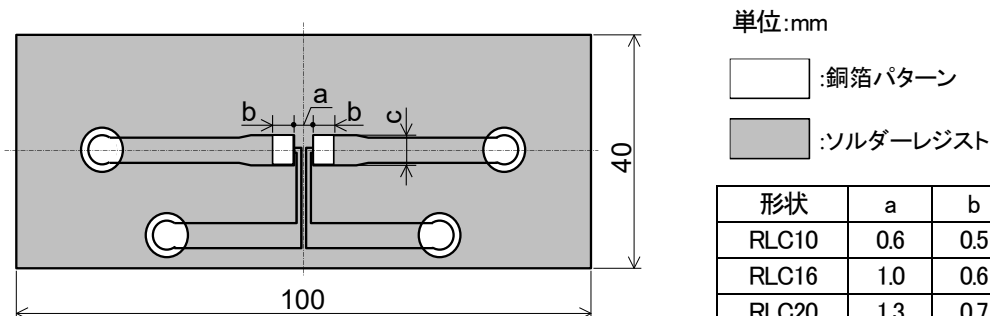
RLC10,16,20,32,35 用 耐プリント板曲げ性 試験基板略図



RLC50,63 用 耐プリント板曲げ性 試験基板略図



*2 抵抗温度係数:L 品

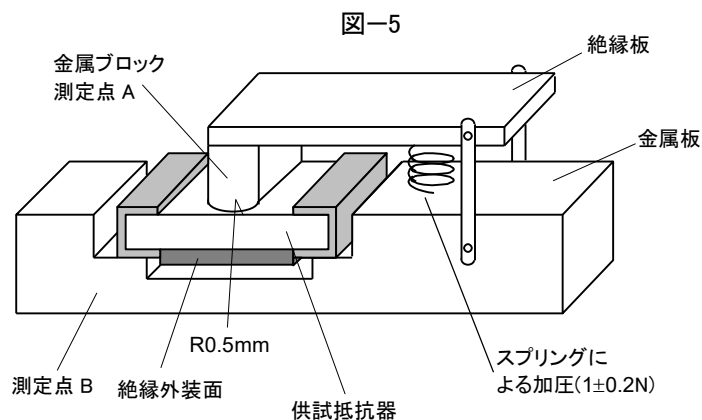


備考 1. 材質は、ガラス布基材エポキシ樹脂。

厚さ:1.6 mm 銅箔厚さ:0.035 mm

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 14/17



9. テーピング加工

9.1 関連規格 JIS C 0806-3:2014, EIAJ ET-7200C:2010

9.2 テーピング加工寸法

9.2.1 紙テープ(8 mm 幅, 2 mm ピッチ)

テーピング加工寸法は、図-6 及び表-6 のとおりとする。

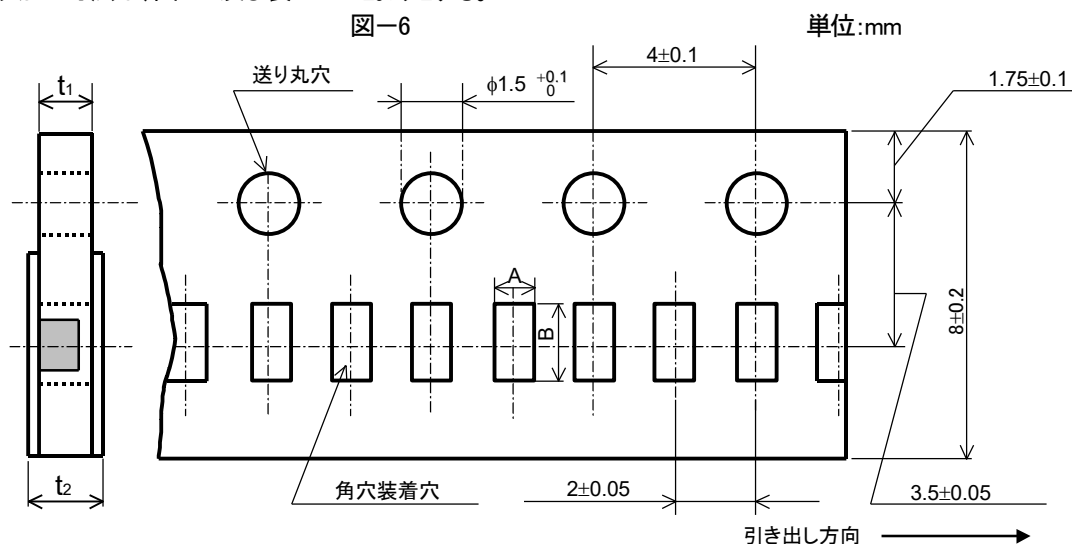


表-6

単位:mm

形状	A	B	t ₁	t ₂
RLC10	0.65 ^{+0.05} _{-0.10}	1.15 ^{+0.05} _{-0.10}	0.4±0.05	0.5max.

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 15/17

9.2.2 紙テープ(8 mm 幅, 4 mm ピッチ)

テーピング加工寸法は、図-7 及び表-7 のとおりとする。

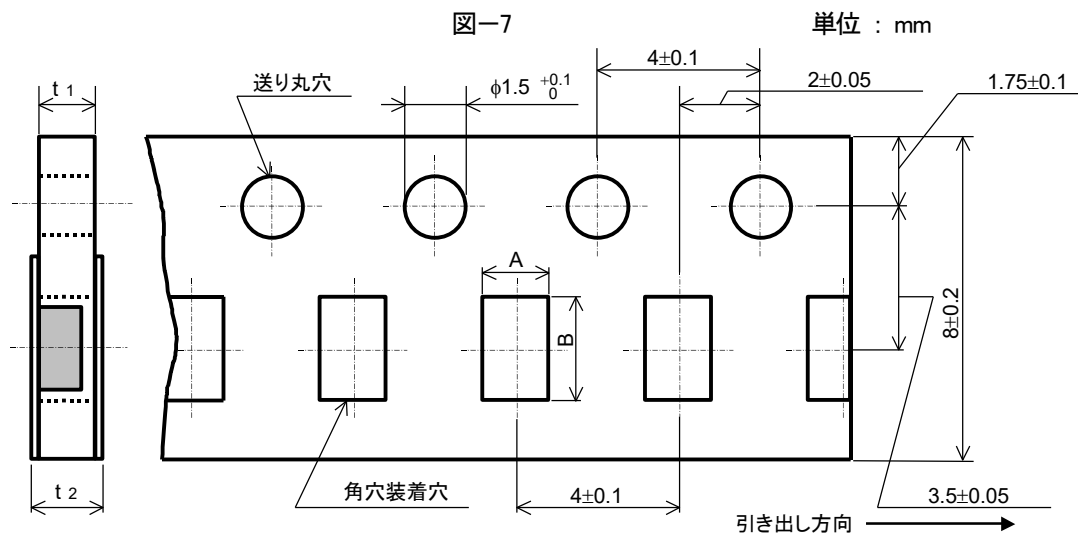


表-7

単位:mm

形状	A	B	t ₁	t ₂
RLC16	1.15±0.15	1.9±0.2	0.6±0.1	0.8max.
RLC20	1.65±0.15	2.5±0.2	0.8±0.1	1.0max.
RLC32	2.0±0.15	3.6±0.2		

9.2.3 エンボス・テーピング加工寸法は、図-8 及び表-8 のとおりとする。

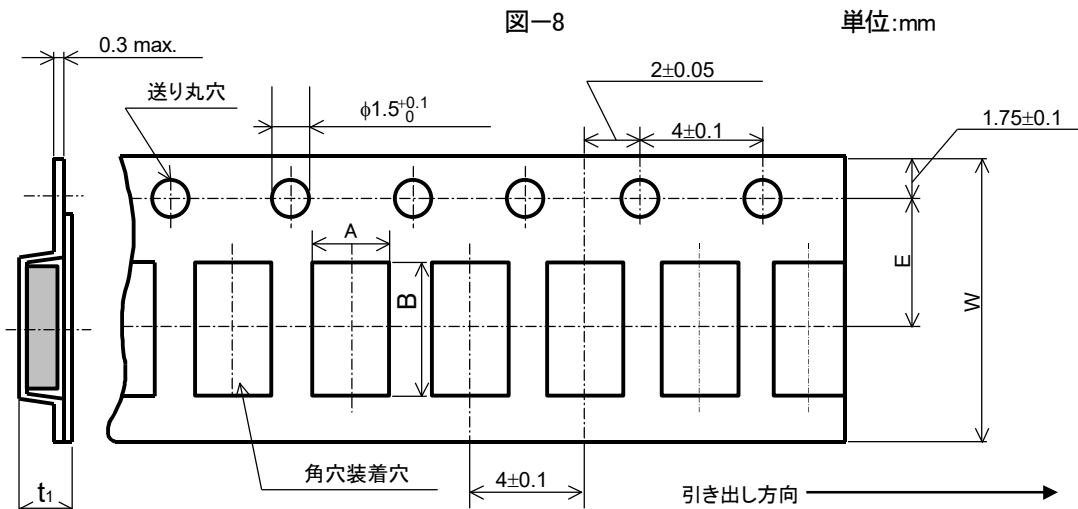


表-8

単位:mm

形状	A	B	W	E	t ₁
RLC35	2.85±0.20	3.5±0.2	8±0.3	3.5±0.05	1.0±0.2
RLC50	3.1±0.2	5.5±0.2	12±0.3	5.5±0.05	1.1±0.15
RLC63	3.6±0.2	6.9±0.2			

名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 16/17

- 1). カバーテープは、送り穴をふさいではいならない。
- 2). 隣接したテープは、リール内で付着してはいならない。
- 3). キャリアテープ又はカバーテープに部品が付着してはいならない。
- 4). 10ピッチの累積ピッチの許容差は、 $\pm 0.2\text{mm}$ のこと。
- 5). 上面カバーテープを RLC10,16, 20, 32: 図-9, RLC35, 50, 63: 図-10 の方法で剥離した場合、剥離強度は $0.1\text{N}\sim 0.5\text{N}$ とする。
- 6). テープを最小半径(RLC10,16,20,32,35:25mm, RLC50,63:30mm)で曲げる場合、テープが損傷しないで、部品はテープ内での位置及び向きを維持すること。
- 7). 部品は連続して2個以上が欠落してはいならない。また、部品の最大欠落数は1個又は0.1%のうちいずれか大きい方とする。
- 8). テープ内の抵抗器は、抵抗体部上向きに統一されていること。

図-9

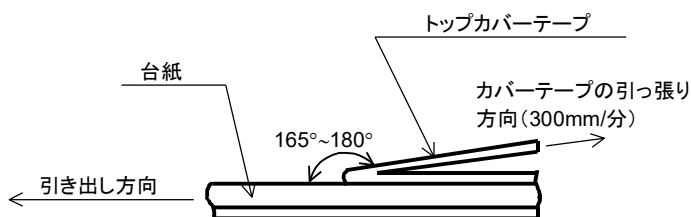
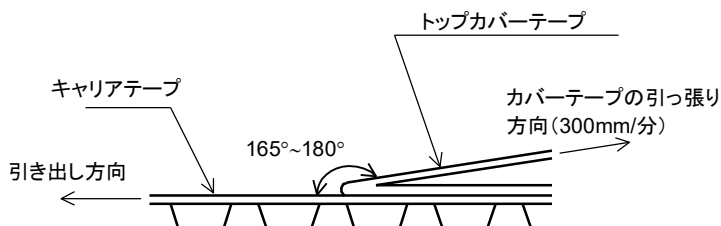


図-10



名称: 角板形低抵抗チップ抵抗器
RLC10, 16, 20, 32, 35, 50, 63

Page: 17/17

9.3 テーピング用リール

収納リールの寸法は、図-11 及び表-9 のとおりとする。

プラスチックリール(EIAJ ET-7200C 準拠)

図-11

単位:mm

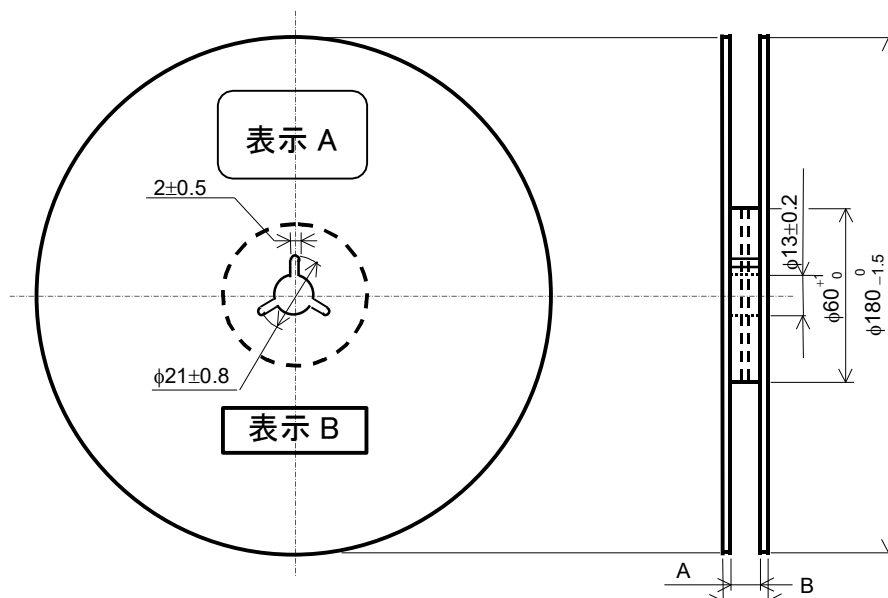


表-9

単位:mm

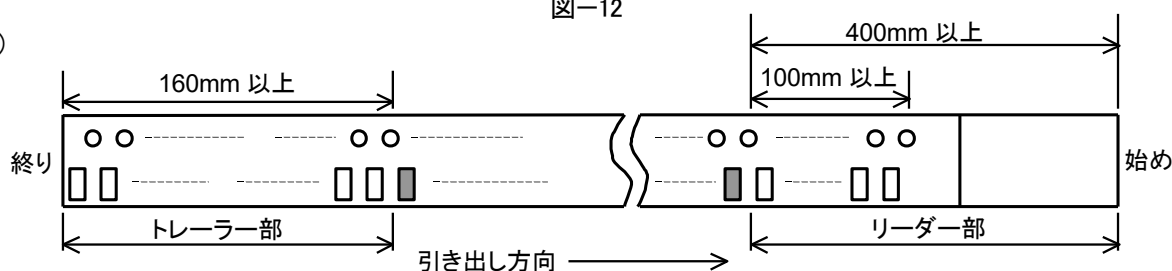
形状	A	B	備考
RLC10, 16, 20, 32, 35	9 ^{+1.0} ₀	11.4±1.0	射出成形
		13±1.0	真空成形
RLC50, 63	13 ^{+1.0} ₀	17±1.0	真空成形

※表示ラベルは、表示 A の 1ヶ所、又は表示 A, B の 2ヶ所に貼り付けることとする。

9.4 リーダー部及びトレーラー部

図-12

例



10. 包装に関する表示

最小梱包単位には、次の事項の表示を施すこと。

10.1 表示 A

- (1) 形名(形状、抵抗温度係数、定格抵抗値、定格抵抗値の許容差、包装形態) (2) 数量
(3) 出荷ロット番号 (4) 製造者名又はその略号 (5) その他

10.2 表示 B (弊社社内管理ラベル)